

館報



5月号

No. 781

令和3年
(2021年)

やまがた



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

あたたかな時間が流れる ベーグル屋さん

太田 かおりさん (上竹田)

木の温もりを感じる自宅で、手作りのベーグルと焼き菓子のお店を開いて、1年半になるかおりさん。11年前に長男を出産し、おやつに焼いていたベーグルを喜んで食べる我が子を見ながら、“いつか自分のお店を持ちたい”と夢を抱いてきました。自家製の天然酵母や甘さを控えた味は小さいお子さんにも安心して口にすることができ、「お客さんから『心が温かくなった』と感想をいただいたり、営業日には遠くから買いに来てくれる方もいて、周りの反応が大きな自信になった」と話します。

自然体で明るいかおりさんに思わずおしゃべりにも花が咲き、店内はあたたかな時間が流れています。
(4月15日 TETE小屋にて)

働く姿

告知板

B&G 海洋センター 6月19日(土)営業スタート!!

昨年度は、コロナ禍のため全期間利用中止となりましたが、感染対策を万全にして開館いたします。開館日時が掲載された営業カレンダーは、館報5月号と同時に配布する『学びの情報』に掲載しています。

プール水は、塩素消毒やさまざまな細菌検査などを実施し、衛生面に細心の注意を払い営業いたしますので、多くの皆さまのご来館お待ちしております。

《使用料》

○大人（高校生以上） 250円

○中学生以下 無料

※幼児（3歳以下）は、保護者と一緒に遊泳するようにしてください。

※小学校3年生以下の方は、保護者の付き添いが必要です。（付き添い者は入館無料）

お問い合わせ

山形村教育委員会 ☎0263-98-3155

きのこの駒うち体験

4月5日(月)～18日(日)まで、山形村観光協会主催の『きのこの駒うち体験』が行われました。毎年恒例のイベントで、例年であれば大人数で一斉に行っていたのですが、コロナ禍により昨年同様、少人数で複数日に分けて開催となりました。今年も好評で、開催の発表から1週間ほどで用意した250本の原木（山形村産）が予約でいっぱいになったほどでした。



松本山雅PV

in ミラ・フード館

取材した当日は、村内外から家族連れなどが訪れ、担当者から説明を受けながら原木にドリルで穴をあけ、木づちなどで種駒を打ち込み楽しんでいました。

4月21日(水)、ミラ・フード館にて、愛媛FC対松本山雅FCのバブルックビューイング(PV)が開催されました。試合前にホームタウン担当の片山真人さんより、今回の見所や期待をお話ししていただき、試合前からサポーターの応援に力が入りました。途中、競り合う場面などがあると大きな拍手が沸き起こりました。新型コロナウイルス感染症対策上、

夜空に快音響く!

5月8日(土)、トレーニングセンターグラウンドにて、第44回ナイターソフトボール連盟のリーグ戦が開幕しました。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため開会式が直前で中止になったものの、感染対策を万全にし、試合がスタートしました。



春の草木遊びを楽しむ

やまのこ保育園にて、この春に進級した年長さんが端午の節句に合わせて、桜の枝で草木染めした鯉のぼりを制作しました。細かくちぎった枝を大きな鍋で煮出して、白い布を浸すと鮮やかな桜色に染まり、驚きの歓声をあげる園児たち。花びらと同じ色に染まったことに新たな発見と好奇心がくすぐられたようでした。身近な草木は、年齢に関わらず、興味深いですね。タネポポの茎を吹いて笛にしたりと春の野原で楽しい遊びを発掘中の園児たちです。



草木染めした鯉のぼり

大きなねんぼろ見つけたよ



山すそ

”思い通りの人生じゃないとしてもそれも幸せと選ぶことは出来る”『明日はきつという曲になる』という曲の一節

だ▼昨年当初からコロナ騒動が始まりマスクの着用や移動の制限などで、従来の生活ができなくなり新しい生活様式が始まった。仲間との飲み会などがなくなり、ソロ活動が増えた▼釣りやソロキャンプやウォーキングなどに移行していくと、その度に買い物したりと少々浪費はあったが、最近気づいたことがある。すべての買い物がかまく繋がっている気がする。釣りで使うカッター、ヘッドライト、防寒着etc.釣りでなくてもキャンプでも使えるものばかり。ウォーキングでもその防寒着のおかげで吹雪の中でも暖かく過ごすことができ、スノーボードにも使えた▼『イレギュラー』も不規則・変則という意味だが、どんな時も『イレギュラー』なことが起こる時がある。それを面倒くさいことが起きたと捉えるか、良い方向に向きつけができたと思うかで、明日がよい日になるかもしれせん。

図書館からのお知らせ

*「小さな時計展～時を刻む愛しきものたち～」
6月9日(水)～22日(火)
6月10日は時の記念日。悠久の時を刻んできた愛らしい時計を、多数館内に展示します。

*ワークショップ
「レジンのキーホルダー作り」
日時：6月12日(土)
午前10時00分～午前11時30分
場所：トレーニングセンター
ふるさと大ホール

材料費：500円
定員：10人
講師：久保田長利さん
鉱石やウランガラス、時計の歯車を材料にキーホルダーを作ります。好きなパーツをレジンで閉じ込めてみましょう。
申込み：山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.52
編集＝山形村図書館

「図書館の今」

～昨年度を振り返って～

令和2年度はコロナで明け、コロナで暮れました。図書館も利用制限があったり、イベントが軒並み中止になったり、開館以来ずっと右肩上がりだった利用が初めて減少しました。

令和2年度の現況は次の通りです。

*貸出の本を5冊から10冊に増冊*学習室の机に手作りの衝立を設置*わらべうたの会「せつせつせ」や新着本リストをYCSで配信*児童館へ毎月50冊団体

Table with 4 columns: 令和2年度, 令和元年度, 令和2年度, 前年度比. Rows include 蔵書数, 図書, CD・DVD, 利用登録者, 貸出冊数, 貸出人数, 入館者数.

貸出など図書館としてもコロナ状況下で、できることを工夫しながら運営してきました。

6月からは感染予防をしながら、通常開館していますが、人は戻らないまま。いったん止めてしまうと、ゼロではなくマイナスからのスタートになることを身にかけて感じます。

まだ先が見えませんが、今年秋には記念の図書館開館10周年！秋には記念の図書館祭りを計画しています。盛大にお祝いできることを願っています。

4月23日～5月12日

こどもの読書週間

「本で出会う世界の国々」展

山形村図書館には世界50ヶ国以上の絵本・児童書があります。その国の画家が絵を描いた作品は、人や動物、風景や小物、色使いにもお国柄が出ていてとても魅力的です。



「本を通して世界中に友だちをつくることは平和への第一歩」とアメリカの児童文学作家キャサリン・パターソンが、国際アンデルセン賞の受賞スピーチで述べています。日本と違う文化に触れるいい機会となりました。

アフリカアートをマネしてみたら…すっごくアートが生まれました!!

展示に合わせて、4月24日(土)に「ティンガティンガ・アートであそぼう」というお絵描き講座を楽しみました。これはアフリカのタンザニアで始まった描き方で、6色のペンキでいろいろな色を作り、下絵なしで描くのが特徴です。



動物を印刷した画用紙全体に、6色の絵の具で色を付けていきます。3色ぐらいの淡い色を塗る子もいれば、虹色に塗り分ける子も…

絵の具が乾くの待つ間、アフリカの絵本『どうぶつたちのじどうしゃレーズ』アバシ・ムブカ(かもがわ出版)で大笑い。乾いたところで動物たちに色を付けます。実際の動物の色にこだわらず着色します。ラベンダー色のゾウ、つばさや角を書き足したシマウマ、赤い目をらんらんと輝かせた強そうなヒョウなど、子どもたちの自由な発想とダイナミックな色づかいに圧倒されました。

BOOK 52 新着本

おすすめ新着本紹介

「レジの行列が早く進むのは、どっち?」 サトウマイ(総合法令出版)

人数と品物の量をチェックして並ぶのになぜか失敗! スーパーで早くレジを通すポイントを通すポイントを通すポイントをお教えします。 『N言葉、もう使われていませんよ』 日本語倶楽部(河出書房新社)

「聖徳太子」はだ色「O.L」はもはや賞味期限切れの日本語。世の中が変わればことばも変わる。旧い言葉を最新版にアップデートトしましょう。

『でんごんゲーム』 宮下すずか(くもん出版) あいだに誰かがはいると、話ごとんでもない方向に行ってしまう、ゆかいな伝言ゲームのお話です。

『やさいはいきている』 藤田 智ひさかたチャイルド) 普段は捨ててしまう野菜の切れ端を水につけておくとどうなるでしょう。ひよっとして、もう一回食べられる?」



名が語る

※写真は昨年度以前の活動のものです

今年4月から新たな体制で各分館の活動が始まりました。新型コロナウイルスの流行で今まで通りの活動をする事は難しい状況ですが、今できることを、安心して楽しくできる方法を模索して、山形村の伝統ある公民館活動を継承していきたいものです。

これから2年間公民館活動をリードしていく新分館長の6名に想いを語っていただきました。

楽しく活気ある活動を

上大池分館長 小口 良二

今年度から分館長をやってほしいと前役員から依頼され、悩んだ末に引き受けました。公民館の役員として活動するのは、約25年ぶりです。

新型コロナウイルスの収束が今だ見えない中でのスタートとなり、区民の皆さんの交流の公民館活動をするにあたり、新型コロナウイルス感染対策をして安全に楽しく

地域を笑顔にする

活動をめざって

中大池分館長 上條 浩明

この度分館長を務めることになりました。長いこと単身赴任で村を離れていましたので地域の事情について不案内なところもありますが、役員・部員の方々はじめ、皆様のお力添えをいただきながら頑張っております。

以前私は、福島で原発事故の影響を受けた森林の再生を進める仕事に従事していましたが、避難生活を強いられることになった農山村に足を運ぶ中で感じたのは、地域の繋がりの大切さです。地域の繋がりが分断されればギクシャクした社会になり、一方、地域で支え合うことが復興の大きな助けになっていました。

今はコロナ禍の中です。分館事業についても皆さまの安全を第一として活動を制限せざるを得ず、まずは早くコロナ禍が収

行えるか不安ですが、副分館長・会計・部員の皆さんと協力して、分館活動を盛り上げていきたいと思えます。

分館事業として、5月に予定していた春のスポーツ大会は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止としました。他に、分館報「こうやまき」発行、山形じゃんずら、区民の集い、村民運動会、お元気会などを計画しました。コロナ禍の状況ですが、一つでも多くの事業が実施できればと思います。

公民館活動に思いごと

下大池分館長 旗町 通憲

令和3年度から2年間分館長を務めることになりました旗町です。

これまで分館活動には社会部の部員として数回活動して来ましたが、初めのころと今では社会状況の変化に伴い分館で行う行事も変わって来たと感じています。



2020年2月号より転載

以前に比べ行事への参加者を募る、あるいは参加依頼も難しくなっており、これもライフスタイルの多様化が一つの要因と思えます。しかし、行事に参加される

区民の皆さん、分館の役員の方々と一緒に事業活動を通して交流が深まるように取り組んでいきたいと思えます。

ですので、区民の大勢の皆さんに参加していただくよう、ご協力をよろしくお願いたします。

区民の皆様と楽しく

小坂分館長 百瀬 重治

小坂分館長を務めさせていただくことになりました百瀬です。

副分館長中川剛寛さん、会計上條誠さん、社会部長増塩勝美さん、体育部長秋山武さん、新役員の皆さんと協力して公民館事業に取り組んでまいります。

私、分館長2期目になります。前任者の方がたのご意見をいただきました役員の方々と訪問させていただきましたが、良い答えをいただくことが出来ず再任させていただきました。



2020年2月号より転載

昨年度は新型コロナウイルスの關係上、集団活動が出来ない状況でした。年度が替わり今年度は少人数で出来る事をやりたいと思いましたが、昨年度よりも新型コロナウイルス状況は厳しい状況になってしまつたと思えます。村民運動会は2年間実施し



2018年10月号より転載



2021年度より新体制始動 新分館長6

まることを願うばかりですが、厳しい中でも地域が笑顔になるような分館活動をめざしていきたいと思えます。皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



2018年12月号より転載

コロナ禍の収束を願って

下竹田分館長 神通川 洋

令和3・4年度の分館長を務めることとなりました神通川です。不慣れでもあり無事務まるかどうか不安ですが、副分館長の赤羽あゆみさん、分館会計の上條隆久さん、社会部長の高山泰美さん、体育部長の唐沢勲さんはじめ今期の役員の皆さん、区民の皆さんのご協力をいただきながら分館運営に取り組んでまいりたいと思えます。

さて、分館が直面する大きな課題は新型コロナウイルスへの対応です。分館活動はもともと、区民の皆さんが集まって交流やふれあいを図ることを目的に催事を企画・運営することがメインでした。ところが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度以降、活動が非常に難しくなりました。

令和3年度についても先行きは不透明で、新型コロナウイルスの状況を注視しながら

歓迎し、交流を深め、あるいは学習して行くことは分館として変わらぬに考えて行かなければいけないことではないかと思っています。コロナ禍の現状でなかなか大人数での行事は実施しにくいことありますが、分館の皆さんに興味を持ってもらい、参加しやすい内容を考えていきたいと思っておりますので、新役員ともどもよろしくお願いたします。

ら対応を模索することに乗りそうです。

コロナ禍の早期収束を願うとともに、分館活動に対する区民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

訂正とお詫び

館報4月号公民館人事で、下竹田分館役員の役職名・氏名に誤りがありました。ご本人並びに読者の皆さまに、訂正し深くお詫び申し上げます。訂正したものについては、村ホームページに掲載しています。

(誤) 体育部会計 小松 達哉さん
(正) 副体育部長 土屋 敏彦さん



2019年7月号より転載

みんなで繋げよう！公民館活動

上竹田分館長 古畑 徹

ていません。部員の皆さんの選手集めにも今後支障が出るのではないかと心配もいたします。公民館事業は、人と人の繋がり作りや親睦を深める、助け合いの場であるような気がいたします。コロナ禍収束後には、活動再開出来る事を願い、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

前期に引き続き上竹田分館長を拝命させていただきます。また、副分館長と会計も引き続き同じ顔触れで務めさせていただきますので、何卒よろしくお願いたします。さて、昨年度は計画した行事はすべて中止と非常に寂しい一年となりました。公民館活動本来の各種事業を通じて住民の皆さまの健康増進や教養の向上、地域活性化が出来ない状態です。

マスクを外して大声で応援し、村全体が盛り上がる運動会や、生ビールを飲みながら盆踊りをして、花火を楽しむじゃんずらが早く出来ることを願うばかりです。

反面このような状況が続くと、今まで諸先輩方々が築いてきたものがリセットされるのではないかと不安もありますが、一つの伝統ある行事を柱に、現代に沿ったやり方や工夫をして、まずは分館からそして本館へ活気ある公民館活動へ繋げて行きたいと思えます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



2019年12月号より転載



おやし塾 活動記録

〜きのご駒打ち
4月9日(金)
昨年度から計画
していたきのこの
駒打ちを開催しま
した。昨年10月に清水高原
で伐採して
保管してい
た原木にシ
イタケの駒
を打ち込み
ました。



また原木
打ち込みと
は別に種菌(なめこ・ひら
たけ)とおがくずを混ぜた
タネを原木でサンドイッチ
する珍しい手法も試してい
ます。シイタケは来秋、な
めこ・ひらたけは今秋には
収穫になりそうです。今か
ら楽しみです。

原木の切った面と面
にタネを挟んでラップ
と紐で固定します!



染め物講座

4月17日(土)・18日(日)、ト
レーニングセンター調理室
にて、染め物講座が行われ
ました。今年度第1回目の
公民館講座となったこの講
座は、朝日村にお住まいの
染色家、大久保匡晃(まさひろ)さん
を講師にお迎えし、草木染め
の基本から実際に染色を体
験するところまでを学びま
した。1日目は村内で採取
した『よもぎ』を煮だして染
料を作りながら、各自が持
参した生地の下地作りを行
い、2日目には模様が付く
ように生地に絞りを入れて
から染色しました。染め上
がった作品を見た参加者か
らは「うまくいった」「きれ
い」と歓声が上がっていま
した。



きれいに染まりました!

特集

家族で話そう“家”の未来 (下)

山形村空き家バンクについて聞いてきました

4月号では、『山形村空き家バンク』に登録すると、片付けや改修費
用に対する補助金を村に申請できることや村内の宅地建物取引業者が
仲介に入り、安心して利用できるなど利点について、企画振興課の宮
越さんと山本さんにお話を伺いました。最終回では、村が目標とする
地域像についてお二人の考えを聞いてみたいと思います。

Q4 空き家を村づくりのためにどのように活用していきたいですか?

空き家が増えていくことは、個人的にも悲しく思います。山形村は豊かな自然や面白い物する場
所が近くて便利といった魅力があり、この地域を気に入って永く住んでもらい、移住者も増やし
ていきたいです。『空き家』という、眠っている財産を村民はもちろん、Uターンしたい人、移住
したい人の『住まい』として活用してもらい村の活性化に繋がっ
ていくことが一番の理想だと思います。空き家には維持管理の
負担や相続などの問題が絡んできますが、まずはお気軽に企画
振興課に相談していただければ喜んでお力になりたいです。

『山形村空き家バンク』の取材を終えて

宮越さん、山本さんからは村の未来を見据え、空き家を活用
することで地域を盛り上げていきたいという熱意が伝わってき
ました。直面する課題として、空き家は年々増えてきていま
が、所有者からの相談は少なく、まずは一人でも多くの方に村
の社会資源である『山形村空き家バンク』を利用していただけた
らと思います。お話の中で「将来、家をどうしたいか日頃から
家族で話し合ってお話し」と提案があり、空き家問題は他人ご
とではなく、早い段階から準備していくことが必要だと感じま
した。大切な家をお手入れしながら、他の人へと住み繋いでい
ける循環型の村になれば、環境にも優しく魅力的ですね。(完)

『山形村空き家バンク』へのお問い合わせ

山形村役場 企画振興課 ☎0263(9)855666



おめでた字・題 (敬称略)

- | | | | |
|---------------|----------------|--------------|-------------|
| 水谷 琉花・千夏奈 中大池 | 宮川 桜風・啓一 上竹田 | 中村 奈緒・真悟 上大池 | 百瀬 一華・貴志 小坂 |
| 鈴木 末人 小坂 | 瀨川 千恵子 上大池 | 百瀬 是るみ 下竹田 | 倉科 武志 下大池 |
| 小野 幸子 上竹田 | 宮沢 セツ子 91歳 上竹田 | | |



お花見 ウォーキング

4月10日(土)、公民館本館イベント『お花見ウォーキング』が開催されました。桜の花が残る春日和に多くの参加者が集い心地よい雰囲気と共に、ウォーキングコースを進んでいきました。登り坂や下り坂ありの起伏に富んだコースで参加者の息があがる場面もありましたが、要所に見られる桜の花や山形村の春の景色をみんな楽しんでみました。



続系車⑦

ふるさと伝承館の活動を紹介する「ミニ・糸車」。伝承館は取り壊されましたが、「続・ミニ糸車」として継続していくことになりました。旧伝承館の所蔵資料の様子やこれから予定される企画展、村内の文化財保護活動などさまざまな情報を発信していきます。

皆さんは伝承館の跡地にぽつんと残る建物をご存知でしょうか。この建物は「埋蔵文化財」を収蔵するための収蔵庫です。中には、これまで村内で行われた発掘調査などで出土した土器や石器などが収められています。出土した年や場所(遺跡)がそれぞれ分かるように整理され、村の歴史を物語る貴重な資料として大切に保管されています。



収蔵している土器

道祖神を巡る

4月20日(火)、上大池いきいきサロン『ほおずきの会』が上大池と小坂周辺の道祖神を巡る「春のお出かけ」を行いました。参加した19名は、ウォーキング組とバス組の2コースに分かれて散策し、案内役の山形村史談会の高野嘉敬さん(上竹田)と山形村教育委員会の和田和哉さんから各道祖神の歴史や由来の説明があると熱心に聞き入っていました。道祖神は集落の邪気を払い、旅の安全を願うといわれ、地域住民の方たちの手で大切に管理されているそうです。参加者からは「普段は行けないようなところも行って、面白い発見があった」という感想が聞かれました。



熱心に説明を聴く参加者

みんなの人権

優の風景 39

“普選の父・太八郎”と主権者教育 ～山小「いいとこたくさん山形かるた」に学ぶ

◇「⑤」普通選挙発足させた太八郎。これは、令和元年度に、当時の山形小学校6年生が作成した「いいとこたくさん山形かるた」の読み札の一枚です。このかるたづくりは、ここ数年続けられてきた学社連携による「ふるさと学習」の結晶でもあります。コロナ禍のため、地域へのお披露目は中止になってしまいましたが、今でも低学年のかるた遊びを兼ねた「せいかつ」の時間など、多方面で活用されていると聞きます。◇あの文豪夏目漱石と同じく、明治元(1868)年に、当時の大池村の裕福な家に生まれた中村太八郎。若い頃から、理不尽な社会に義憤を感じていた彼は、貧者、弱者、労働者、小作人や婦人の生活向上のために力を尽そうと決意し、普通選挙と土地所有の理想実現のために生涯を捧げた人物として知られています。木下尚江らと一緒に立ち上げた普通選挙運動は、大正デモクラシーの高まりのなか、全国的な広がりをみせ、ついに大正14(1925)年5月、「25以上のすべての男子が、衆議院議員の選挙権をもつ」という普通選挙法として実を結びました。当時の新聞は、「普選の大恩人」太八郎を忘れるな！と報じたほどでした。◇上大池に静かに佇む生家や、清水寺脇の記念碑に刻まれた尚江の「秋晴れの高き空にも似たりける、君を思うて涙こぼる」という歌などから、平等な社会の実現を一途に目指した「普選の父・中村太八郎」の人柄が偲べれます。それはまた、彼を産んだ我が村の文化・教養・風土の奥深さを物語っているようにも思います。(伝承館資料「灯」紙芝居、図書館蔵書館報記事など参考資料多数あり) ◇ところで、子どもたちが、ふるさと学習を通して、これからの村づくりに向けて発言し活動することは、私たちの人権を実現するための大切な主権者教育の一環。村祭りや環境整備、更には防災訓練などの機会を捉えては、山形っ子たちと一緒に活動し議論し合って、主権者としての自覚を高め合えたらと思います。今年度は、これまでの村長選挙、参議院議員補欠選挙に続いて、衆議院議員選挙、村議会議員選挙と、立て続けに参政権行使の機会が訪れます。こんな折、後に戦後の女性参政権、最近の18歳参政権へと拡大していった普選の歴史的意義を振り返ってみることも、村の「優の心」の基盤づくりに大切なことと思います。(令和3年5月 M・H・記)

駅伝 にかける

第16回長野県市町村対抗小学生駅伝 村の部第2位!! 山形村代表選手 山形小学校6年生

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 清沢 ^{みのり} 実紀さん (下竹田) | 上條 ^{ゆうた} 悠太さん (下竹田) |
| 加藤 ^{るな} 瑠奈さん (上竹田) | 友森 ^{とあ} 翔愛さん (上竹田) |
| 今藤 ^{そういちろう} 聡一朗さん (小坂) | 鈴木 ^{まなみ} 満奈美さん (小坂) |



4月24日(土)、上記6名が山形村代表選手として、第16回長野県市町村対抗小学生駅伝に出場しました。未だ新型コロナウイルス流行の収束が見えず難しい判断となりましたが、感染防止対策や周囲の後押しもあり参加を決めました。



全員、駅伝の経験がほとんどありませんでしたが、「過去の大会でお兄さん・お姉さんが走る姿を見て、自分も走りたいと思ってずっと練習していました」という選手もいました。大会終了後には「タスキを繋ぎ、みんなで良い成績を残したい」「ゾーン(タスキ受け渡し区間)で受け取りするときが一番緊張しました」とタスキを繋ぐことに関する感想が多かったですが、「周りのライバルを追い抜くことに全集中していました」といった熱い思いも聞かれました。



3月から切磋琢磨してきたチームも本大会の終了をもって解散となりますが、一緒に頑張った思い出はきっと宝物になるはずです。「来年も一般の部で走れるように頑張ります!」という頼もしい抱負も聞かせてもらったので、コロナ禍が収束し、皆で声援を送れる日を楽しみにしています。



青春ど真ん中が生まれ変わります!!

未だ先行き不透明な新型コロナウイルスの流行により、人と人の関係が“疎”になっていくと感じている方も多いと思います。新しい刺激を求めてイベントに参加したり習い事を始めたりといったことが以前のように気軽にできる雰囲気ではなくなってきました。そこで、これまで「青春ど真ん中」として村民の皆さんを紹介してきたこのスペースを、情報交流の場として活用してもらおうべくリニューアルします。

新コーナー名

スマイル やまがたSmile

ネットワークが爆発的に発達し続ける昨今はプライバシーへの配慮も必要となるため、顔写真やフルネーム必須といった縛りをなくし、気軽に参加できるコーナーにしたいと思います。

右記の募集内容をご覧ください、多くの応募をお待ちしております。

募集内容

何気ない日常の中で感じたことやちょっと聞いてほしいことなどを教えてください。
例)特技、自慢のお宝、思い出の品、ペット紹介、珍しい資格、お気に入りの場所、サークル紹介、秘伝のレシピなど

応募は下記のいずれかの方法をご利用ください。採用された方には、後日、編集部員から取材のご連絡をいたします。

入力フォーム 右記QRコードを読み取ってください。

メール 下記アドレスへメールしてください。

kanpou@vill.yamagata.nagano.jp

電話 ☎0263-98-3155 (山形村公民館)

なお、山形村近隣もしくはリモート取材可能な内容に限らせていただきます。あらかじめご了承ください。

